

PC リモートパワーオンアダプタ取扱説明書

概要

- パソコンの電源を外部からの操作でオンにする装置です。
- スイッチやセンサーをつなぎ、それらを利用してパソコンの電源をオンにすることができます。
- スイッチ・センサーは「伝の心」「オペレートナビ」などの入力補助装置用スイッチをそのまま使用できます。



梱包内容 ~ご確認ください~

- | | |
|-----------------------|----|
| 1. PCリモートパワーオンアダプタ本体 | 1台 |
| 2. ACアダプタ | 1台 |
| 3. LANケーブル(クロス 1m) | 1本 |
| 4. パソコン接続コード(両端ミニプラグ) | 1本 |



ACアダプタ



LANケーブル



パソコン接続コード

必要事項 ~別途ご用意・ご確認ください~

- 操作用スイッチをご用意ください。「伝の心」「オペレートナビ」と兼用可能です。
- 既存のネットワークに接続(後述)の場合 LAN ケーブル(ストレート)が必要です。
- パソコンがウェイク・オン・ラン(Wake On LAN = WOL)に対応していることを確認してください。

各部の名称・機能

- 前面



状態表示ランプ

(緑): パソコン操作中を示します
(赤): パワーオン信号出力中を示します

- 背面



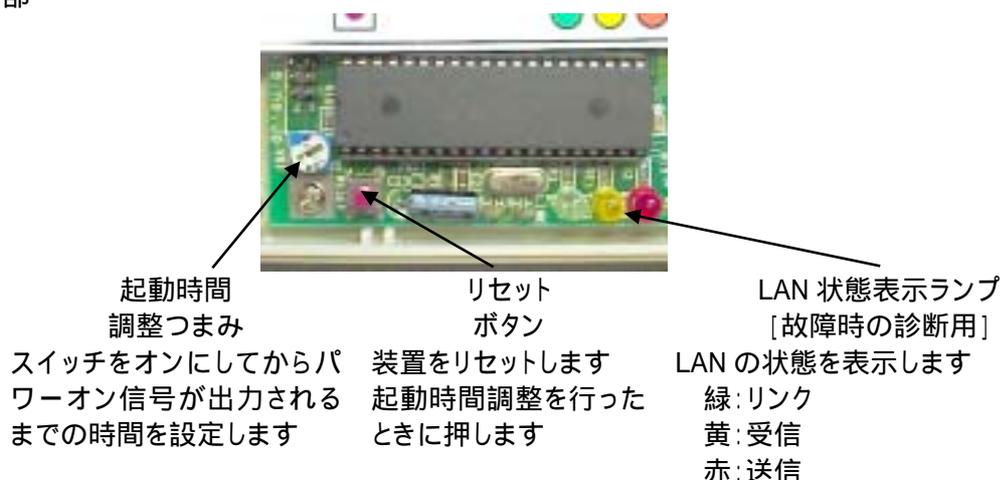
スイッチ
接続ジャック
操作用スイッチを接続
します

パソコン
接続ジャック
パソコン入力補助装置
('オペレートナビ'や
'伝の心')と接続します

ACアダプタ
接続ジャック
付属のACアダプタを
接続します

LAN
接続ジャック
パソコンまたはLANと接続
します

➤ 内部



設置方法

➤ パソコン側の準備

- ✧ 対象パソコンがWOL (WakeOnLAN) に対応していることを確認してください。
- ✧ WOL 機能は多くの場合オフに設定されているため、コントロールパネルまたは BIOS 設定で使用可能にしてください。方法はパソコンにより異なります。取扱説明書などで確認してください。
- ✧ 対象パソコンにTCP/IPがインストールされていることを確認してください。

WindowsXP の場合：

「スタート」-「コントロールパネル」-「ネットワーク接続」-「ローカルエリア接続」-「プロパティ」-「全般」に「インターネットプロトコル(TCP/IP)」が表示されればインストール済みです。

TCP/IP あるいは「ローカルエリア接続」が表示されない場合「ネットワーク接続」の「ネットワークセットアップウィザード」を起動し画面に従ってセットアップを行ってください。

WindowsMe の場合：

「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク」-「ネットワークの設定」に「TCP/IP -> HITACH LAN Adapter」(一例)が表示されればインストール済みです。

TCP/IP が表示されない場合、「スタート」-「プログラム」-「アクセサリ」-「通信」-「ホームネットワークウィザード」によりインストールを行ってください。

Windows98 の場合：

「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク」-「ネットワークの設定」に「TCP/IP -> HITACH LAN Adapter」(一例)が表示されればインストール済みです。

TCP/IP が表示されない場合、「スタート」-「設定」-「コントロールパネル」-「ネットワーク」-「ネットワークの設定」で[追加] - [プロトコル] - [Microsoft] - [TCP/IP]を選びインストールを行ってください。別の WindowsXP パソコンで「ネットワークセットアップウィザード」を実行し、セットアップディスクを作成し、対象パソコンで「netsetup.exe」を実行することによってもインストールできます。

➤ 接続

3つの接続方法があり、それぞれ配線や設定のしかたが異なります。使用条件に合った方法を選んでください。

- 1対1接続 – パソコンをネットワークに接続せず、LAN インターフェイスをパワーオンアダプタ専用として利用する方法です。
 1. パソコンの「コントロールパネル」 「ネットワーク」で「TCP/IP」の「プロパティ」を選び「IP アドレス」タグの「IPアドレスを指定」を選びます。
 2. 「IPアドレス」に「192.168.1.100」と入力します。
 3. 「サブネットマスク」には「255.255.255.0」と入力します。
 4. クロスケーブルでパソコンのLANインターフェイスとパワーオンアダプタのLANインターフェイスを接続します。
 5. 操作スイッチをパワーオンアダプタの「スイッチ」に接続します。
 6. パワーオンアダプタにACアダプタを接続します。
 7. パソコンを再起動します。
 8. DOS プロンプトで、ping 192.168.1.200 と実行します。（「ping 実行方法」参照）
Reply from 192.168.1.200 bytes=xx time=xxms TTL=255 と出れば OK。
Request timed out と出た場合接続がうまくいっていません。
 9. パソコンの電源を切ります。
 10. パワーオンコントローラの操作スイッチをオンにします。
はじめランプが緑に点灯し、そのままスイッチを押し続けると約2秒後に赤に変わります。
 11. 上記操作でパソコンの電源がオンになれば OK です。
- 固定IPアドレス接続 – パソコンがすでにネットワークに接続されており、そのネットワークにパワーオンアダプタを固定IPアドレスで接続する方法です。
 1. ネットワーク管理者に固定 IP アドレス「192.168.1.200」で接続可能か確認してください。不可の場合接続可能なIPアドレスに変更するか DHCP を利用する方法を用います。IPアドレスの変更方法は「IP アドレス変更方法」をご覧ください。
 2. ストレートケーブルでネットワークのハブとパワーオンアダプタのLAN インターフェイスを接続します。（ストレートケーブルは別途ご用意ください）
 3. 操作スイッチをパワーオンアダプタの「スイッチ」に接続します。
 4. パワーオンアダプタにACアダプタを接続します。
 5. DOS プロンプトで、ping 192.168.1.200 と実行します。（「ping 実行方法」参照）
Reply from 192.168.1.200 bytes=xx time=xxms TTL=255 と出れば OK。
Request timed out と出た場合接続がうまくいっていません
 6. パソコンの電源を切ります。
 7. パワーオンアダプタの操作スイッチをオンにします。
はじめランプが緑に点灯し、そのままスイッチを押し続けると約2秒後に赤に変わります。
 8. 上記操作でパソコンの電源がオンになれば OK です。

- DHCP 接続 - パソコンがすでにネットワークに接続されており、ネットワーク中にある DHCP サーバからIPアドレスを取得して接続する方法です。
 1. パワーオンアダプタの設定を固定アドレスから DHCP 利用に切り替える必要があります。設定変更の詳細は「IP アドレス変更方法」をご覧ください。
 2. DHCP の場合IPアドレスが接続するたびに变化します。パソコンからのパワーオンの登録作業を行う時にはパワーオンアダプタのIPアドレスを知る必要があります。

IPアドレスは DHCP サーバ(ルータ)の管理情報として得ることができます。
 3. ストレートケーブルでネットワークのハブとパワーオンアダプタの LAN インターフェイスを接続します。(ストレートケーブルは別途ご用意ください)
 4. 操作用スイッチをパワーオンアダプタの「スイッチ」に接続します。
 5. パワーオンアダプタにACアダプタを接続します。
 6. 2.で調べたIPアドレスを使って DOS プロンプトで ping を実行します。(「ping 実行方法」参照)

Reply from 192.168.1.200 bytes=xx time=xxms TTL=255 と出れば OK。(一例)

Request timed out と出た場合接続がうまくいっていません
 7. パソコンの電源を切ります。
 8. パワーオンアダプタの操作スイッチをオンにします。

はじめランプが緑に点灯し、そのままスイッチを押し続けると約2秒後に赤に変わります。
 9. 上記操作でパソコンの電源がオンになれば OK です。

パソコンとの接続

付属のミニプラグの付きコードをパワーオンアダプタのパソコン接続ジャックに接続し、もう一方を伝の心やオペレートナビなどパソコン入力補助装置の操作用スイッチ入力に接続します。これにより、パソコンの電源をオンにする操作とパソコン操作を同じスイッチ・センサーで行えます。

使用方法

1. パワーオンアダプタの操作スイッチをオンにすると、はじめランプが緑に点灯し、そのままスイッチを押し続けると約2秒後に赤に変わります。
2. ランプが赤になったときパソコンに起動信号が送られ電源がオンになり、起動します。
3. 起動信号はパソコンの電源がすでに入っている状態でも送られますがパソコンの動作には影響しません。(入っていた電源が切れるわけではありません)
4. パソコンの電源が入っている状態では伝の心、オペレートナビなどを従来どおり操作できます。
5. パソコンがスタンバイ、休止状態の場合も1.の操作で通常使用状態に戻ります。このとき画面表示は消えたままの場合がありますが、伝の心やオペレートナビ、キーボード、マウスいずれかの操作を行うと表示されます。

調整・設定

● 起動時間の変更方法

1. スイッチをオンにしてからパソコン起動信号が送られるまでの時間、スイッチの長押し時間を内部にあるつまみで調整できます。
2. 出荷時は約2秒に設定されています。
3. ACアダプタの接続を外し、本体底にあるネジ4本を外しケースのふたをあけます。
4. 起動時間調整つまみを小さいマイナスドライバーなどで回し時間を調整します。
5. 時計方向に回すと時間が短くなり、反時計方向に回すと長くなります。
6. 最小は(時計方向に回しきった特)0.05秒、最大は(反時計方向に回しきったとき)約13秒です。
7. 設定はパワーオンアダプタの電源投入時1回だけ読み込まれます。もし電源を入れたまま調整を行う場合はその都度リセットボタンを押して再読み込を行わせてください。

● ping 実行方法

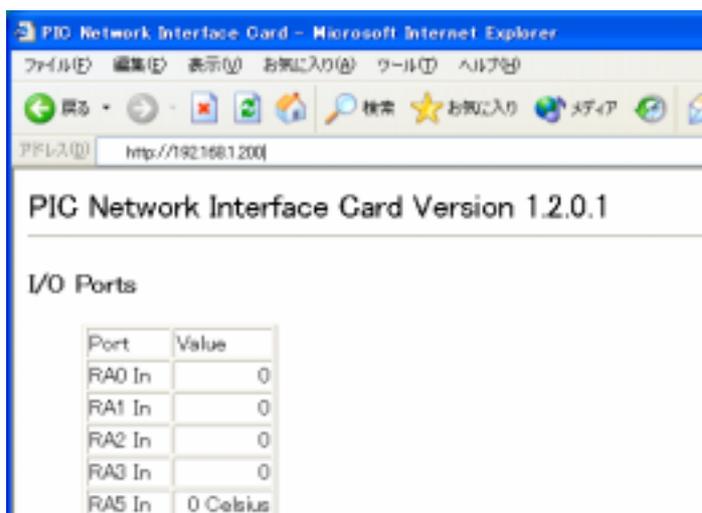
Windows に標準で付属する DOS プロンプトによる方法を説明します。他のソフトを用いてもさしつかえありませんが、4回以上送信を行うことと電源をオンにしたい対象パソコン上で実行することに注意してください。

1. WindowsXp の場合、「スタート」 - 「すべてのプログラム」 - 「アクセサリ」 - 「コマンドプロンプト」を選択します。
2. Windows98,Me の場合「スタート」 - 「プログラム」 - 「MS-DOS プロンプト」を選択します。
3. ping 192.168.1.200 とキー入力し Enter キーを押します。
4. Reply from 192.168.1.200 bytes=xx time=xxms TTL=255 と出れば OK。Request timed out と出た場合接続がうまくいっていません
5. exit と入力し Enter キーを押すか、右上のクローズボタン(×印)を押して画面を閉じます。

● IP アドレス変更方法

既存のネットワークに接続するために IP アドレスを変更する場合、DHCP 接続にする場合に必要です。

1. 上記「1対1接続」によりパソコンとパワーオンアダプタを1対1で接続します。この場合使用するパソコンは電源オンを行うパソコンでなくてもかまいません。
2. 接続したままパソコンでインターネットブラウザ(インターネットエクスプローラ、ネットスケープナビゲータなど)を起動します。
3. ブラウザのアドレス欄に 192.168.1.200 と入力します。図のようなページが表示されます。



- ページを下にスクロールして「Configuration」が現れるようにします。
- 「Configuration」の「IP Addr」に現在のIPアドレスが表示されているので希望のIPアドレスに変更します。(一例として192.168.1.200)
- DHCPを使用する場合はIPアドレスを0.0.0.0にします。
- 「Save」ボタンを押すと新しいIPアドレスが記憶されます。
- 新しいアドレスに切り替わるのは一旦電源を切った後です。ACアダプタのプラグを抜き10秒程度たった後再びさし込んでください。
- DHCP接続から固定アドレスに戻す場合は、DHCP接続のまま上記3.同様パソコンのブラウザで現在のIPアドレス(DHCPサーバの管理情報として得ることができます)を入力すると上記画面が現れます。

Configuration

MAC Address	00-02-CB- 
IP Addr	192.168.1.200
NetMask	255.255.255.0
GateWay	0.0.0.0
http Port TCP:#	80
LCD Port UDP:#	10000
Parallel Port UDP:#	10001
Serial Port UDP:#	10002
<input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Default"/>	